

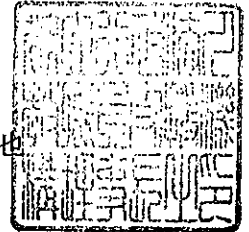
独 教 研 第 7 8 号

令和元年5月8日

各都道府県知事 殿

独立行政法人教職員支援機構

理事長 高岡 信也



(印影印刷)

令和元年度産業・情報技術等指導者養成研修の実施について(依頼)

平素より、教職員支援機構の研修事業に御協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、令和元年度の標記研修につきましては、別添実施要項のとおり実施いたしますので、貴管下の私立学校に御周知いただきますようお願いいたします。

ついては、受講者の推薦がある場合は、貴管下の私立学校分を取りまとめの上、様式1「推薦名簿」を、令和元年6月18日(火)までに、電子メール(宛先: kk2@ml.nits.go.jp)にて御提出ください。

実施要項等は、当機構 Web ページ (<https://www.nits.go.jp/training/003/001.html>) よりダウンロード可能となっております。

なお、本研修の目的は、各学校・地域において、研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や、各学校への指導・助言等を受講者が行うことです。各都道府県私立学校主管部課におかれましては、研修の目的を御理解の上、適切な方を御推薦いただくとともに、受講者の成果活用に御配慮いただきますよう、よろしくお願いします。



(問合せ先)

独立行政法人教職員支援機構 つくば中央研修センター
研修プロデュース室(長谷川)

TEL:029-879-7010 FAX:029-879-6645

E-mail:[kk2@ml\(エムエル\).nits.go.jp](mailto:kk2@ml.nits.go.jp)

令和元年度産業・情報技術等指導者養成研修 実施要項

1 目的

本研修は、学校における実習等の授業の質の向上を図るため、急速に発展・進歩する産業技術、情報技術等について、情報化・技術革新その他社会情勢の変化に適切に対応した最新の知識・技術を習得させ、受講者が各地域で行われる研修の講師等や各学校への指導・助言等を行うことを目的としている。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 共催 文部科学省、教育関係団体・大学等（[別添2]のとおり）

4 期間、会場、定員、教科、研修内容等

[別添2]のとおり

5 受講者

(1) 受講資格

① 各都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者

② 高等学校、中等教育学校又は中学校で産業教育を担当する教諭等

(2) 推薦人数

受講定員は、[別添2]のとおりとする。ただし、定員を超える推薦があった場合でも受講が可能なので、積極的な推薦を行うよう努めること。

(3) 女性の研修参加の促進

指導的地位における女性の割合が高まることが期待されていることから、当機構としては、女性が受講者全体の25%を上回ることを目指している。推薦者においては、女性の積極的な推薦について御配慮願いたい。

(4) 推薦手続

推薦期限は、令和元年6月18日（火）とする。

各都道府県・指定都市教育委員会においては推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

私立学校においては、都道府県知事部局に連絡し、都道府県知事部局が、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

国公立大学法人については、担当部局が取りまとめの上、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

(5) 受講者の決定

各都道府県、指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。定員を超過する場合は、受講者数を調整する場合がある。

6 経 費

本研修に係る経費については、受講者一人当たり[別添2]に定める「受講費限度額」の範囲内において派遣者または受講者が負担するものとする。

「受講費」の支払額及び支払い方法については、受講者の決定通知後(例年、研修実施後、約2～3か月目処)、教職員支援機構より別途通知する。

※詳細は、[様式1]「推薦名簿」の「記入上の注意」(注6)を参照のこと。

7 研修成果の報告

受講者は、研修終了後1か月以内に、[様式2]「研修成果報告書」を推薦機関に提出する。推薦機関は、提出された「研修成果報告書」を取りまとめ、教職員支援機構(電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」)宛てに提出する。

8 その他

- (1) 所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。
- (2) 本研修終了後に受講者アンケート等を行う。

令和元年度 産業・情報技術等指導者養成研修

(別添2)

教科 [研修分野]	講習 番号	定員	実施期間	主な実施場所	研修テーマ	研修内容	実施団体	受講者 限度額
農業	A-1	20	7月29日(月) ～8月2日(金)	クリエート浜松 (静岡県浜松市)	新学習指導要領を念頭に、地域振興や地域資源の活用に関する農業教育の講義と実習	地域の振興や資源の活用に関する講義や農業教育における「主体的・対話的で深い学び」に関する演習及び先進農家での見学・実習などを通して、地域と連携したプロジェクト学習等の指導に関する技術の取得を目指した研修	特定非営利活動法人 しずおかユニバーサル 園芸ネットワーク	59,300
工業	B-1	20	8月19日(月) ～8月23日(金)	金沢工業大学 (石川県野々市市)	教科「工業」における授業改善に関する講義と演習 ～工業科におけるPBL実践法～	高等学校学習指導要領の教科「工業」の各科目について、生徒が課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶような授業の改善にむけて、講義や演習を通して、指導力を高めることを目指した研修	学校法人金沢工業大 学	49,700
商業	C-1	40	7月29日(月) ～8月2日(金)	千葉商科大学 (千葉県市川市)	新高等学校学習指導要領を踏まえた教科「商業」における授業改善に関する講義と実習	授業改善の実践事例、教科「商業」の指導内容・指導方法及び商業教育の充実に関するディスカッションなどを通して、指導力を高めることを目指した研修	学校法人千葉学園 千葉商科大学	25,900
水産	D-1	15	7月30日(火) ～8月2日(金)	東京海洋大学越中 島キャンパス (東京都江東区)	水中における工学装置に関する講義と実習	水中ロボット製作の指導を行う際に必要な技術に関する講義と、10mプールを使用して安全な航行を行うための実技指導を中心とした研修	国立大学法人 東京海洋大学	78,500
家庭	E-1	20	8月5日(月) ～8月8日(木)	全国高等学校長協 会家庭部会事務局 (東京都千代田区)	社会の変化に対応した衣食住、 ヒューマンサービス等の生活産 業に関する講義と実習	衣食住、保育などのヒューマンサービスに関わる生活産業の最新情報や消費者教育の推進に向けた講義、実習などを通して、家庭科の指導力を高めることを目指した研修	全国高等学校長協会 家庭部会	25,800
看護	F-1	20	8月26日(月) ～8月28日(水)	日本福祉大学東海 キャンパス (愛知県東海市)	保健医療福祉の変化に対応した 看護実践力を育成する授業に関 する講義と演習	保健医療福祉の現状や生徒が主体的・協働的に看護実践力を身に付ける学習方法等に関する講義、協議、演習等を通して、指導力を高めることを目指した研修	学校法人日本福祉大 学	44,200
情報	G-1	20	7月29日(月) ～8月2日(金)	千葉商科大学 (千葉県市川市)	次期学習指導要領に対応した教 科「情報」の授業改善に関する講 義と実習	主体的・対話的で深い学びを実現するための授業設計について講義と演習を通して学び、自らの授業を改善することができるようにし、またプログラミング、ネットワーク、データサイエンス、情報デザインとコンテンツ作成など、専門教科及び共通教科で必要となる学習内容についての最新の知識と指導方法について演習を通して学び、自らの授業の質を高めることができるようにす る研修	学校法人千葉学園 千葉商科大学	50,800

高 等 学 校

令和元年度 産業・情報技術等指導者養成研修

(別添2)

教科 [研修分野]	講習 番号	定員	実施期間	主な実施場所	研修テーマ	研修内容	実施団体	受講者 限度額
技術・ 家庭 (技術)	I-1	20	7月22日(月) ～7月26日(金)	宮城教育大学 (宮城県仙台市)	技術によってよりよい生活や持 続可能な社会を構築する資質・ 能力の育成を目指した技術分野 の指導と評価	情報、エネルギー変換、生物育成等のテクノロジーについて理解 させるとともに、これらを用いて社会における問題を解決できる 力を育成するための指導と評価に関する研修	国立大学法人 宮城教育大学	49,500
	I-2	20	8月5日(月) ～8月9日(金)	鳴門教育大学 (徳島県鳴門市)	情報技術によってよりよい生活 や持続可能な社会を構築する資 質・能力の育成を目指した技術 分野の指導と評価	情報のテクノロジーについて理解させるとともに、これらを用いて 社会における問題を解決できる力を育成するための指導と評価 に関する研修	国立大学法人 鳴門教育大学	42,400
	J-1	20	7月30日(火) ～8月2日(金)	横浜国立大学 (神奈川県横浜市)	技術・家庭科(家庭分野)におけ る新学習指導要領に関する講義 と実習	食育・幼児・高齢者理解、消費生活における講義、実験・実習な どを通して、調理や幼児・高齢者との関わり方などに関する技能 の習得を目指した研修	国立大学法人 横浜国立大学	25,800

中学校

研修日程表

高等学校	学業	校]
高	農	A	1
中	工	B	1
小	商	C	1
学	水	D	1
校	家	E	1
庭	看	F	1
報	情	G	1

中学校	学術	校]
中	技	I	1
小	技	I	2
学	家	J	1

※添付した各研修の研修日程表については、5月8日現在のものであり、今後変更になる場合があります。

(別紙様式1)

令和元年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(農業, A-1)

団体名 特定非営利法人 しずおかユニバーサル園芸ネットワーク

日 時	9:00	9:30	10:00	11:00	12:00	12:30	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
2019/7/29 (月)			開 講 式	【研究協議】 自己紹介・所属校紹介 (久保田豊和・1)	【講義】 新学習指導要領について (鈴木憲治・1)	昼休み	【講義】 地域資源の活用 (弱者の戦略) (稲垣栄洋・2)	【講義】 地産地消の商品開発 (中村健二・2)			諸 連 絡
2019/7/30 (火)		【講義】	新しい「農業経営」 農業のマーケティング			昼休み	【演習】 農産物のブランド化 (岩崎邦彦・2.5)	【講義】 農業高校で学びたい「農業経営」 (岩崎邦彦・1.5)			諸 連 絡
2019/7/31 (水)		【講義・演習】 観光農園について (豊田由美・1.5)	【講義】 地域資源活用の授業をデザインする (久保田豊和・1.5)	昼休み	【講義】 園芸の特性と活用 (豊田正博・2)		【講義】 生物活用の授業をデザインする (久保田豊和・2)				諸 連 絡
2019/8/1 (木)		【講義】 農業法人の可能性 (鈴木厚志・2)	【実習】 ユニバーサル農業体験移動・昼休み (鈴木厚志・1.5)	閉 講	【演習】 授業プランの発表 (久保田豊和・1)		【講義】 6次産業化の実際 (伊藤拓馬・1.5)	【講義】 新しい農業の可能性 (加藤百合子・2)			諸 連 絡
2019/8/2 (金)		【講義】 農業経営の授業をデザインする (久保田豊和・2)									

実施会場：クリエート浜松、京丸園、うなぎいもカフェ (静岡県浜松市)

(別紙様式 I)

令和元年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(工業, B-1)

団体名 金沢工業大学

時 限	1 時 限 8:40~10:20	休 憩	2 時 限 10:35~12:15	昼 休 み	3 時 限 13:15~14:55	休 憩	4 時 限 15:10~16:50	自主活動時間 16:50~ 18:00
8 月 19 日 (月)	開講式 オリエン テーション 約 20 分 (講義) PBL 編纂 プロジェクト デザイン教育①	休 憩	プロジェクト活動Ⅰ① (講義・演習) プロジェクトテーマの決定までの 調査・分析・意思決定	昼 休 み	プロジェクト活動Ⅰ② (講義・演習) プロジェクトテーマの決定までの 調査・分析・意思決定	休 憩	プロジェクト活動Ⅰ③ (講義・演習) プロジェクトテーマの決定までの 調査・分析・意思決定	
8 月 20 日 (火)	プロジェクト活動Ⅰ④ (講義・演習) プロジェクトテーマの決定までの 調査・分析・意思決定	休 憩	プロジェクト活動Ⅰ⑤ (講義・演習) プロジェクトテーマの決定までの 調査・分析・意思決定	昼 休 み	プロジェクト活動Ⅱ① (講義・演習) 解決策の仕様設定・立案・試作・ プレゼンテーション	休 憩	プロジェクト活動Ⅱ② (講義・演習) 解決策の仕様設定・立案・試作・ プレゼンテーション	
8 月 21 日 (水)	プロジェクト活動Ⅱ③ (講義・演習) 解決策の仕様設定・立案・試作・ プレゼンテーション	休 憩	プロジェクト活動Ⅱ④ (講義・演習) 解決策の仕様設定・立案・試作・ プレゼンテーション	昼 休 み	プロジェクト活動Ⅱ⑤ (講義・演習) 解決策の仕様設定・立案・試作・ プレゼンテーション	休 憩	プロジェクト活動Ⅱ⑥ (講義・演習) 解決策の仕様設定・立案・試作・ プレゼンテーション	
8 月 22 日 (木)	(講義) 科学技術者倫理	休 憩	プロジェクト活動Ⅲ① (講義・演習) 教育評価法 (ルーブリック作成 ワークシヨップ)	昼 休 み	プロジェクト活動Ⅲ② (講義・演習) 教育評価法 (ルーブリック作成 ワークシヨップ)	休 憩	プロジェクト活動Ⅲ③ (講義・演習) 教育評価法 (ルーブリック作成 ワークシヨップ)	
8 月 23 日 (金)	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅲ④ 教育評価法 (ルーブリック作成 ワークシヨップ)	休 憩	(講義) 教科「工業」に関する 文部科学省施策の動向(仮題) 高校における PBL 実践	昼 休 み	(討議) プロジェクトデザイン教育② 受講者と講師陣による 意見交換とまとめ	閉講式 14:30~ 15:00		

実施会場： 金沢工業大学扇が丘キャンパス (石川県野々市市)

(別紙様式1)

令和元年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(商業：C-1)

団体名：千葉商科大学

	9:30	10:00	10:30	10:40	12:10	昼休み	13:10	14:40	14:50	16:20	16:30	17:00	18:00
	1限		休	2限	3限	4限	休	5限					
7月29日		9:30受付 10:00開始 開会式		高等学校指導要領の改訂と教育課程の編成について(1) 文部科学省初等中等教育局参事官(高等学校担当) 付産業教育振興室 教科調査官 西村 修一	高等学校指導要領の改訂と教育課程の編成について(2) 文部科学省初等中等教育局参事官(高等学校担当) 付産業教育振興室 教科調査官 西村 修一	商業教育の課題 千葉商科大学副総長 近藤 真唯		2日目以降の研修に関する説明					
7月30日	主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善 ～ファシリテーション能力の育成(1)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男	主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善 ～ファシリテーション能力の育成(2)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男			主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善 ～ワークシヨップデザイン(1)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男	主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善 ～ワークシヨップデザイン(2)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男		振り返り ～グループワーク～					
7月31日	新学習指導要領を踏まえたマーケティング分野の授業改善(1) ～授業研究～ 未定 (高等学校教諭等)	新学習指導要領を踏まえたマーケティング分野の授業改善(2) ～学習指導案の作成演習～ 未定 (高等学校教諭等)			新学習指導要領を踏まえたマーケティング分野の授業改善(1) ～授業研究～ 未定 (高等学校教諭等)	新学習指導要領を踏まえたマーケティング分野の授業改善(2) ～学習指導案の作成演習～ 未定 (高等学校教諭等)		振り返り ～グループワーク～					
8月1日	新学習指導要領を踏まえたビジネス情報分野の授業改善(1) ～授業研究～ 未定 (高等学校教諭等)	新学習指導要領を踏まえたビジネス情報分野の授業改善(2) ～学習指導案の作成演習～ 未定 (高等学校教諭等)			新学習指導要領を踏まえた分野共通の科目の授業改善(1) ～授業研究～ 未定 (高等学校教諭等)	新学習指導要領を踏まえた分野共通の科目の授業改善(2) ～学習指導案の作成演習～ 未定 (高等学校教諭等)		振り返り ～グループワーク～					
8月2日	新学習指導要領を踏まえた会計分野の授業改善(1) ～授業研究～ 未定 (高等学校教諭等)	新学習指導要領を踏まえた会計分野の授業改善(2) ～学習指導案の作成演習～ 未定 (高等学校教諭等)			新学習指導要領を踏まえた授業改善をするために ～全体の振り返るワークシヨップ～ 千葉商科大学副総長 近藤 真唯	閉会式 (～15:30)							

実施会場：千葉商科大学 (千葉県市川市)

(別紙様式1)

令和元年度 産業・情報技術等指導者養成研修日程

(水産, D-1)

団体名 国立大学法人東京海洋大学

日 時	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
7月30日 (火)	9:30 (講義) 開講式 柳江マシヨウ	(講義) 新学習指導要領 文部科学省教科調査官 西澤 美彦	(講義) 最先端ROVの見学 JAMSTEC 主任研究員 澤隆雄	昼 休 み			(見学) JAMSTEC 最先端ROVの見学 JAMSTEC 主任研究員 澤 隆雄 T T 富山県立滑川高等学校 教諭 澤田 和之		
7月31日 (水)	(講義) 船体抵抗 東京海洋大学 教授 南 清和	(実習) ROVに必要な加工技術 東京海洋大学 助教 後藤 慎平		昼 休 み			(実習) ROVの推進システムの製作 東京海洋大学 助教 後藤 慎平		
8月1日 (木)	(講義) 電気推進システム 東京海洋大学 教授 清水 悦郎	(実習) ROVの耐圧処理 東京海洋大学 助教 後藤 慎平	(見学) マリノロボットコンテス ト大会ブレゼン	昼 休 み		(見学) マリノロボットコンテスト大会実技	(実習) ROVの浮力調整 東京海洋大学 助教 後藤 慎平		
8月2日 (金)		(実習) ROVのシステム制御 東京海洋大学 助教 後藤 慎平		昼 休 み	振り返りと協議 東京海洋大学 助教 後藤 慎平	閉講式			

実施会場：7/30 海洋研究開発機構 横須賀本部

実施会場：7/31～8/2 東京海洋大学 越中島キャンパス

令和元年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(家庭科 E-1)

全国高等学校校長協会家庭部会

月日(曜)	午前1(9時30分～11時)		午前2(11時～12時30分)		昼休み	午後1(13時30分～15時00分)		午後2(午後15時00分～16時30分)		実施会場
	9:30	10:00	11:00	12:00		13:30	15:00	15:00	16:00	
1 8月5日 (月)	【開講式】 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【講義】 「家庭科における 授業改善の視点」	【講義】 「家庭科教員に望むこと、教師としての心構え ～地域連携を通して～」	元校長 渡辺 美智子		【講義】 「家庭科における消費者教育の指導法の工夫」	横浜国立大学 教授 松葉口 玲子	【講義・演習】 「暮らしやすく安全で環境に配慮した住空間の 計画と主体的学習」	日本女子大学 教授 平田 京子	全国高等学校協会 家庭部会(千代田区)
2 8月6日 (火)	【講義】 「現代の食生活の課題、日本の食文化と しぎたりの関わりについて」	東京誠心調理師専門学校 教授 鈴木 歩	【講義・実習】 「おいしさの科学と調理」	東京誠心調理師専門学校 教授 鈴木 歩		【講義・演習】 「盛り付けのしきたりとテクニック、 テーブルコーディネート」	東京誠心調理師専門学校 教授 鈴木 歩	【講義・演習】 「盛り付けの実践、調理実習の評価について」	東京誠心調理師専門学校 准教授 松井 昭亮	東京誠心調理師専門学校 (大田区)
3 8月7日 (水)	【講義】 「日本のアパレル業界の 動向とEC展開」	杉野服飾大学 准教授 五月女 由紀子	【講義】 「テキスタイルの魅力」	杉野服飾大学 教授 梅谷 知世		【演習】 「色彩に関する演習」	杉野服飾大学 准教授 桐山 征士	【演習】 「ファッションとプロダクトデザイン」	杉野服飾大学 教授 肉丸 美香子	杉野服飾大学 (品川区)
4 8月8日 (木)	【講義・演習】 「保育の指導法の工夫」	実践女子大学 教授 松田 純子	【講義】授業実践事例 「地域と共に支え合う生活産業人育成に向けた 取り組み」	千葉県立館山総合高等学校 教諭 筒井 智会		【まとめ・研究協議】 「研修のまとめ」	文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【閉講式】		全国高等学校協会 家庭部会(千代田区)

(別紙様式 1)

令和元年度 産業・情報技術等指導者養成研修日程

(看護, F-1)

団体名 日本福祉大学

日時	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00
8月 26日 (月)	受付	開 講 式	講義(90) 看護教育の現状と課題	昼食(交流会)		学内 見学	演習(75) (GWと発表) 技術教育が抱える 問題・課題 宮腰・新美・ 山口・荒木		講義(90) 技術教育の考え方と 効果的指導方法 宮腰							
				山口 司会												
8月 27日 (火)		講義(60) シミュレーション 教育の考え方 新美	演習(75) シミュレーション教育 :シナリオ作成 新美・荒木・ 西土・佐藤・加藤		昼食		演習(75) シミュレーション教育 :シナリオのテストラン と発表 新美・荒木・ 西土・佐藤・加藤		講義・演習(90) シミュレーション教育: 病床環境(ベッド)の活用 西原・佐藤・山口		講義・演習(50) シミュレーション教育の まとめ 新美・山口・ 西原・佐藤					
			新美・荒木・ 西土・佐藤・加藤													
8月 28日 (水)		演習(90) (GWと発表) 実習教育における 問題・課題 宮腰・新美・ 山口・西土	講義(90) 実習施設で行う 臨地実習教育への 取り組み方 宮腰		昼食		演習(75) (GWと発表) 研修全体の振り返り 宮腰・新美・ 西原・加藤		講義(60) これからの 看護教育 福村		閉 講 式					

実施会場：日本福祉大学東海キャンパス (愛知県東海市)

(備考)

1. 演習時に使用しますので、聴診器とナースシューズを持参してください。また、服装は動きやすいものにしてください。
(その場での更衣も可能です。)
2. 臨地実習要項を持参してください。(ご自身が担当している教科のものでかまいません。)
3. 1日目の昼食は主催者が準備します。(交流会の費用として、1000円程度のご負担をお願いします。)
2～3日目の昼食は、ご持参ください。

(別紙様式 1)

令和元年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(情報, G-1)

団体名 千葉商科大学

日 時	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	12:10	13:10	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
7月29日(月)		受付	開講式	講義; 学習指導要領 (文部科学省 教科調査官 鹿野利春)	昼休み	アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善 事例と講義・実習 (聖心女子大学教授 益川弘如)						
7月30日(火)				コンテツ分野の実践例と実習 Adobe	昼休み	ネットワークの基礎・応用 (秋田県立仁賀保高等学校)						
7月31日(水)				Apple 訪問・見学 (意見交換・情報収集)	昼休み	Microsoft 訪問・見学 (プログラミング研修)						
8月1日(木)				AI プログラミング (京都府立京都すばる高等学校)	昼休み	計測・制御						
8月2日(金)				プログラムによるデータ解析	昼休み	振り返りと協議 (千葉商科大学教授 永井克晃)	閉講式					

実施会場: 千葉商科大学

(別紙様式 1)

令和元年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(技術・家庭(技術), I-1)

団体名 国立大学法人 宮城教育大学

59	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
7月22日 (月)	受付 9:00-9:50	開講式 9:30-9:50	(講義) 技術教育における 学習評価 10:00-11:30	昼休み	(講義/実習) 材料加工技術の理解を深める 題材の検討(切削用具の 整備・木材小作品) 1 12:30-14:00	(講義/実習) 材料加工技術の理解を深める 題材の検討(切削用具の整備・ 木材小作品) 2 14:10-15:40	(講義/実習) 材料加工技術の理解を深める 題材の検討(切削用具の整備・ 木材小作品) 3 15:50-17:20		
7月23日 (火)	(講義/実習) 生活や社会を支える 情報技術(情報モラル・サイバセキ ティ) 9:00-10:30	(講義/実習) 材料と加工の技 術の原理・法則 (加工技術の活 用に関する発 想) 1 10:40-11:40	昼休み	(講義/実習) 材料と加工の技 術の原理・法則(加 工技術の活用に関 する発想) 2 12:40-13:40	(講義/実習) 電気エネルギー活 用の原理と法則 1 13:50-15:20	(講義/実習) 電気エネルギー活 用の原理と法則 2 15:30-17:00			
7月24日 (水)	(講義/実習) 電気エネルギー活 用のための原理と法則 2 9:00-10:30	(講義/実習) 情報技術の授業設計 10:40-12:10	昼休み	(講義/実習) 計測・制御のプログラミング 13:00-15:00	(講義/実習) 双方向性のあるコンテンツの プログラミング 15:10-17:10				
7月25日 (木)	(講義) 生物育成分野の目的・作物 栽培技術の基礎 9:00-10:30	(講義/実習) 作物管理実習を通して 作物成長の原理・法則 の理解 10:40-12:10	昼休み	(講義/実習) 生活を支える 省エネルギー 技術 1 13:00-14:00	(講義/実習) エネルギー変換にお ける力学的な機構に関 する問題解決の工夫 14:10-15:40	(講義/実習) エネルギー変換にお ける水圧駆動機構に関 する問題解決の工夫 15:50-17:20			
7月26日 (金)	(講義/実習) 生活を支える省エネ 9:00-10:30/10:40-12:10		昼休み	(講義/実習) 課題解決型の制御学習 1 13:00-14:30	(講義/実習) 課題解決型の制 御学習 2 14:40-15:40	閉講式 15:50-16:20			

実施会場：宮城教育大学 (宮城県仙台市)

(別紙様式1)

令和元年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(技術・家庭(技術), I-2)

団体名: 鳴門教育大学

日 時	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
平成31年 8月5日(月)		9:30- 10:00 開 講 式	(講義 10:00-12:00) これからの技術教育 - 学習指導 要領の改訂を踏まえて -	星休み	(講義 13:00-14:30) 技術教育における学習評価	(実習 14:30-17:00) 情報機器の変遷を踏まえた小学校 から高等学校に至る情報教育教材			
8月6日(火)	(実習 9:00-12:00) 小学校からの接続を意識した計画・制御プログラミング			星休み	(実習 13:00-17:00) 小学校からの接続を意識した計画・制御プログラミング				
8月7日(水)	(実習 9:00-12:00) 高等学校への接続を意識した双方向性プログラミング			星休み	(実習 13:00-17:00) 高等学校への接続を意識した双方向性プログラミング				
8月8日(木)	(実習 9:00-12:00) 高等学校への接続を意識したファイアウォール構築			星休み	(実習 13:00-17:00) 高等学校への接続を意識したファイアウォール構築				
8月9日(金)	(研究協議 9:00-12:00) (各班での協議) 技術教育ディスカッション (新しい学習指導要領の実 施に向けて)			星休み	(研究協議 13:00-15:00) 技術教育ディスカッション (全体発表)	15:00-15:30 閉 講 式			

実施会場: 鳴門教育大学 (徳島県鳴門市)

(別紙様式1)

令和元年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(技術・家庭(家庭), J-1)

団体名：横浜国立大学

日時	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
7月30日 (火)		開講式 10:00 開会 10:02 挨拶 10:12 閉会 受付	(講義)「新学習指導要領における家庭分野の指導」 (担当)筒井恭子(文部科学省初等中等教育局教科調査官) 教育学部講義棟7号館311室 10:35-12:00	昼食	(講義)「新学習指導要領における家庭分野の評価」 (担当)筒井恭子(文部科学省初等中等教育局教科調査官) 教育学部講義棟7号館311室 13:00-14:00	休憩十分	(講義・演習) 「栄養を考えた献立作成の指導」 (担当)三戸夏子(横浜国立大学准教授) 教育学部講義棟7号館311室 14:10-17:10		
7月31日 (水)	(講義・実習)「幼児理解と幼児との触れ合い活動」 (担当)園田菜摘(横浜国立大学教授) 教育学部講義棟7号館311室 森のルーナ保育園 9:00-12:00			昼食	(演習)「幼児の観察・触れ合い活動のまとめと発表」 (担当)園田菜摘(横浜国立大学教授) 教育学部講義棟7号館311室 13:00-15:30	休憩十分	(演習) 「3学年間を見通した全体的な指導計画」 グループ討議 (担当)青木美穂(横浜市立境木中学校副校長) 教育学部講義棟7号館311室 15:40-17:10		
8月1日 (木)	(講義・実習)「高齢者の身体の特徴と介護の基礎」 (担当)工藤由貴子(日本女子大学大学院客員教授) 介護老人保健施設 スカイ 9:00-12:00			昼食	(演習)「高齢者との関わり方について」 のまとめと発表」 (担当)工藤由貴子(日本女子大学大学院客員教授) 教育学部講義棟7号館311室 13:00-14:00	休憩十分	(講義・演習)「消費生活・環境」における指導の工夫 (担当)鈴木真由子(大阪教育大学教授) 教育学部講義棟7号館311室 14:10-17:10		
8月2日 (金)	(実習)「調理科学の視点を重視した実習指導」調理実習 (担当)杉山久仁子(横浜国立大学教授) 教育学部第1研究棟312室 調理学実験実習室 9:00-12:00			昼食	(講義) 「食育における食品安全性」 (担当)山本和貴(農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所 食品高圧技術ユニット長) 教育学部講義棟7号館311室 13:00-14:25	休憩十分	(ディスカッション) 「技術・家庭科(家庭分野)における指導の充実」 (担当)杉山久仁子(横浜国立大学教授)、園田菜摘(横浜国立大学教授)、三戸夏子(横浜国立大学准教授) 教育学部講義棟7号館311室 14:35-16:00	休憩十分	閉講式 16:10 開会 16:12 挨拶 16:20 修了証授与 16:30 閉会 アンケート回収 諸連絡

実施会場：教育学部講義棟7号館311室、教育学部第1研究棟他

令和元年度産業・情報技術等指導者養成研修 推薦名簿

(様式1)

機関等名	教科名 (注5)
------	-------------

推薦順位	フリガナ 氏 名	年齢・性別等 (R2.3.31現在)		受講予定者所属先等		請求書送付先 (注6)		備考
		年齢	性別	所属名称		経費負担区分		
			性別	〒	所在地	TEL	請求書送付先	
			職種				請求書送付先住所	
			担当教科				請求書送付先所属	
			教職歴				請求書送付先担当者	
							請求書宛名	
			年齢	〒	所在地	TEL	請求書送付先	
			性別				請求書送付先住所	
			職種				請求書送付先所属	
			担当教科				請求書送付先担当者	
			教職歴				請求書宛名	
			年齢	〒	所在地	TEL	請求書送付先	
			性別				請求書送付先住所	
			職種				請求書送付先所属	
			担当教科				請求書送付先担当者	
			教職歴				請求書宛名	

記入上の注意

- この名簿は、教職員支援機構における受講者の決定事務及び名簿作成以外での使用はいたしません。
- この用紙は、各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦事務には使用しないでください。
(各都道府県・指定都市教育委員会は研修情報登録システムを使用してください。)
- 中核市教育委員会においては都道府県教育委員会に対する連絡に、私立学校においては都道府県知事部局に対する連絡に、それぞれ使用してください。
- 本様式は、教職員支援機構ホームページ(<https://www.nits.go.jp/training/003/001.html>)よりダウンロードしてください。
- 各教科ごとに別葉としてください。
- 「経費負担区分」の欄には、公費、参加者個人またはその他具体的に入力してください。
「請求書送付先」として入力された宛先に、後日(例年研修実施後2～3か月目処)、教職員支援機構から請求書を送付します。
なお、経費負担区分が「参加者個人」の場合は、同左の受講者所属先住所に送付するため、記入不要です。

担当者氏名	フリガナ	所属郵便番号	
所属電話番号		所属所在地	
所属FAX		所属名称	
		e-mailアドレス	

令和元年度産業・情報技術等指導者養成研修 推薦名簿

(記入例)

推薦順位		フリガナ 氏名	年齢・性別等 (R2.3.31現在)		受講予定者所属先等		請求書送付先 (注6)		教科名 (注5)	A-1	
			年齢	性別	所属名称	経費負担区分	請求書送付先	参加者個人			
1		ケンシユウ タロウ	30	男	〒	〇〇県立〇〇高等学校	請求書送付先	-			
		研修 太郎	職種	教諭	所在地	123-4567	請求書送付先住所	-			
			担当教科	数学		〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	請求書送付先所属	-			
			教職歴	5		TEL	12-3456-7890	請求書送付先担当者	-		
2		キョウウイン ジロウ	50	男	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	経費負担区分	請求書送付先	公費			
		教員 次郎	年齢	50	性別	男	請求書送付先	234-5678			
			職種	教諭	〇〇県 x x 市 x x 町 x-x-x	請求書送付先住所	〇〇県 x x 市 x x 町 x-x-x				
			担当教科	美術	〇〇市立〇〇中学校	請求書送付先所属	〇〇市立〇〇中学校				
3		シドウ ハナコ	40	女	TEL	09-8765-4321	請求書送付先担当者	事務屋 三郎			
		指導 花子	年齢	40	性別	女	請求書送付先	〇〇市立〇〇中学校長			
			職種	指導主事	〇〇県教育委員会〇〇部〇〇課 〇〇グループ	経費負担区分	公費				
			担当教科	国語	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	請求書送付先住所	〇〇県△△市△△町△-△-△	請求書送付先所属	〇〇県教育委員会〇〇部〇〇課		
			教職歴	15	TEL	11-2222-3333	請求書送付先担当者	担当者 一郎			
							請求書宛名	〇〇県教育委員会教育長			

記入上の注意

- この名簿は、教職員支援機構における受講者の決定事務及び名簿作成以外での使用はいたしません。
- この用紙は、各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦事務には使用しないでください。
(各都道府県・指定都市教育委員会は研修情報登録システムを使用してください。)
- 中核市教育委員会においては都道府県教育委員会に対する連絡に、私立学校においては都道府県知事部局に対する連絡に、それぞれ使用してください。
- 本様式は、教職員支援機構ホームページ(<https://www.nits.go.jp/training/003/001.html>)よりダウンロードしてください。
- 各教科ごとに別葉としてください。
- 「経費負担区分」の欄には、公費、参加者個人またはその他具体的に記入してください。
「請求書送付先」として入力された宛先に、後日(例年研修実施後2〜3か月目処)、教職員支援機構から請求書を送付します。
なお、経費負担区分が「参加者個人」の場合は同左の受講者所属先住所に送付するため、記入不要です。

担当者氏名	担当者	一郎	所属郵便番号	765-4321
フリガナ	タノウシヤ	イチロウ	所属所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
所属電話番号	00-0000-0000		所属名称	〇〇県教育委員会〇〇部〇〇課
所属FAX	11-1111-1111		e-mailアドレス	xxxx@xxx.xxx.jp

令和元年度 産業・情報技術等指導者養成研修
研修成果報告書

都道府県・市・国立学校名

所属学校名 職 名	
氏 名	
研修教科及び 研修番号	
受講者番号	
研修期間	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日
研修内容・成果	※研修参加者が作成した報告書等でも可